

特定施設 の 種 類	ばい煙、粉じん、汚水 騒音、振動、悪臭
---------------	------------------------

特定施設 〔 設 置 〕 〔 使 用 〕 届出書

年 月 日

（あて先）宇都宮市長

届出者 住所 （法人にあつては、主たる事務所の所在地）
氏 名 （法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

特定施設の 〔 設 置 〕 〔 使 用 〕 について、栃木県生活環境の保全等に関する条例 〔 第7条
第8条
第25条第1項
第26条第1項 〕 の規定

により、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称					(Tel - -)
工場又は事業場の所在地					(〒 -)
業種及び主要製品			従業員数及び工場又は 事業場の敷地面積	人 ㎡	
特定施設の種別					
△ 特定施設の構造	別紙のとおり	△ 特定施設の使用 及び管理の方法		別紙のとおり	
△ 公害の防止の方法	別紙のとおり	△ 特定施設の 種類ごとの数		別紙のとおり	
※ 受理年月日	年 月 日	※ 整理番号		※ 備考	

- 備考
- △印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り図面、表等を利用すること。
 - ※印の欄には、記載しないこと。
 - 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本工業規格A4とすること。

【提出先：環境保全課 Tel632-2420】

特定施設の構造

工場又は事業場における施設番号		
特定施設番号及び名称		
型 式		
構 造		
主 要 寸 法		
能 力		
配 置		
設 置 年 月 日	年 月 日	年 月 日
工事着手予定年月日	年 月 日	年 月 日
工事完成予定年月日	年 月 日	年 月 日
使用開始予定年月日	年 月 日	年 月 日
その 他 参 考 と な る べ き 事 項		

備考 配置の欄には、当該特定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置を記載すること。
「設置年月日」の欄には、法第5条第1項及び法第7条に基づく、特定施設の設置の届出及び特定施設の構造等の変更の届出の場合には、届出者の本欄への記載は不要です。

特定施設の使用及び管理の方法

工場又は事業場における施設番号					
特定施設番号及び名称					
設置場所					
操業の系統					
使用時間間隔					
1日当たりの使用時間					
使用の季節的変動					
原材料（消耗資材を含む。）の種類、使用方法及び1日当たりの使用量					
汚水等の汚染状態	種類・項目（単位）	通常	最大	通常	最大
汚水等の量（ m^3 /日）		通常	最大	通常	最大
その他参考となるべき事項					

備考 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水に係る排水基準に定められた事項について記載してください。

汚水等の処理の方法

工場又は事業場における施設番号									
処理施設の設置場所									
設置年月日		年 月 日				年 月 日			
工事着手予定年月日		年 月 日				年 月 日			
工事完成予定年月日		年 月 日				年 月 日			
使用開始予定年月日		年 月 日				年 月 日			
種類及び型式									
構造									
主要寸法									
能力									
処理の方式									
処理の系統									
集水及び導水の方法									
使用時間間隔									
1日当たりの使用時間									
使用の季節変動									
消耗資材の1日当たりの用途別使用量									
汚水等の汚染状態及び量	種類・項目 (単位)	通 常		最 大		通 常		最 大	
		処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後
	量 (m ³ /日)								
残さの種類、1月間の種類別生成量及び処理方法									
排出水の排出方法									
その他参考となるべき事項									

- 備考 1 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排出水に係る排水基準に定められた事項について記載してください。
- 2 排出水の排出方法の欄には、排出口の位置及び数並びに排出先を含め記載してください。

排出水の汚染状態及び量

工場又は事業場における施設番号 (排水口の名称)					
排出水の汚染状態	種類・項目 (単位)	通 常	最 大	通 常	最 大
排出水の量 (m ³ /日)		通 常	最 大	通 常	最 大
その他参考となるべき事項					

備考 排出水の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排出水に係る排出基準に定められた事項について記載してください。

用水及び排水の系統

<p>用水及び 排水の系統</p>			
<p>用途別 用水使用量</p>	<p>用途</p>	<p>使用水</p>	<p>用水使用量 (m³/日)</p>
<p>合計</p>			

別添様式 1

(6-(3) 定形的添付書類)

参 考 事 項

記載上の注意 1 届出等に係る工場・事業場の状況等について記載又は添付するものとし、番号は該当するものを○印で囲むこと。
2 届出書及びその別紙に記載又は添付している事項については、あらためて記載又は添付を必要としない。

届出等担当者 (連絡先)		氏名		所属 部課名		電話 FAX	
公害防止管理者		選任 1要 2不要		選任要 職・氏名 のとき		試験又は 資格の区分	
公害防止責任者		職・氏名					
従業員数		主要 製品名		日本標準産業分類の 小分類番号・項目			
特定施設メーカー名				処理施設メーカー名			
特定施設が関係する製造工程の概要							
特定施設等を 設置する土地		用途 地域		敷地 面積等 (既存面積 新規・増加面積 m ² m ² 登記地目)			
特定施設等を 設置する建物		新築 (床面積 m ²)		増改築 (床面積 m ²)			
工場・事業場 当初設置年月日		年 月 日		水質関係特定施設 当初設置年月日		年 月 日	
排水先 (水質関係に係る届出書 に添付のときにのみ記載)		複数の排水口があり、異なる用水路・河川に排出される場合にはその全てについて記載すること 排水水の排出先の用水路名 () ↓ 排水水の排出先の河川名 ()					
環境協定 公害防止協定		締結 1 有 2 無		締結有 のとき 今回の特定施設等の 届出に関する事前協議		1要 2不要 事前協議 1協議済 2協議予定 要のとき	
周辺における公害 苦情等の問題		現在解決して いない苦情 1有 2無		有のときは その区分 1 ばい煙 2 粉じん 3 汚水 4 悪臭 5 騒音 6 振動 7 その他 ()			

その他、別紙として次の書類を添付する。

1 工場・事業場の平面図 (建物、施設等の配置状況を記載し、今回の届出施設を朱塗すること。なお、汚水に関する

届出等については、排水水の汚染状態を測定するための採水場所を記載、朱塗すること。)

2 工場・事業場の案内図 (工場・事業場に至る経路を記載すること。)

3 ばい煙に関する届出書等については煙突立面図 (主要寸法及び測定孔の位置を記載すること。) 及び使用燃料の分析表

4 水質に関する届出書で特定有害物質を使用等する施設については、条例施行規則第17条の規定を遵守していることを明示した図面等

別添様式 2

(6-3) 定形的添付書類

特定有害物質の管理の方法

- 注1 土壌汚染対策法で定める特定有害物質を製造し、使用し、又は処理する水質汚濁防止法の特定施設及び条例の汚水に係る特定施設並びにそれに付随する施設（特定有害物質使用施設）について以下を記載すること。
- 2 栃木県生活環境の保全等に関する条例施行規則第17条で定める特定有害物質管理基準に適合させること。
- 3 特定有害物質使用施設、原料置場、廃液置場、配管、防液堤等の場所が分かる図面等を添付すること。

工場又は事業場における施設番号		特定施設番号及び名称	
特定有害物質の種類		原材料等の製品名	
特定有害物質を含有する原材料等の使用方法等			
	項目	現況又は特定施設設置（変更）後の状況	
1	特定有害物質使用施設設置場所の床の構造及び材質 (床表面の材質については、使用する特定有害物質に対する不浸透性及び耐薬品性が分かるような資料を添付すること)		
2	薬液槽、水洗槽、原料置場、廃液置場等における防液堤または受槽の設置状況 (防液堤等の容量及びその容量に係る根拠についても記載すること)		
3	薬液槽、配管、排水処理施設等における漏洩等の有無の確認方法 (地上設置以外の場合は、確認する場所なども具体的に記載すること)		
4	特定有害物質使用施設に係る配管の材質及び識別方法 (配管の材質については、使用する特定有害物質に対する耐薬品性が分かるような資料を添付すること) (配管を色により識別する場合、どの色が何を表しているかも記載すること)		
5	土壌汚染防止に係る点検項目と点検頻度 (点検表等を添付すること)		
6	原料置場、廃液置場等の床の構造及び材質 (床表面の材質については、使用する特定有害物質に対する不浸透性及び耐薬品性が分かるような資料を添付すること)		
備考			